

すいすいビジョン2029に基づく 2年間の事業報告について

この2年の振り返りと

これからの2年に向かって

第13次吹田市水道事業経営審議会（第4回）

令和4年（2022年）9月21日

吹田市水道部

報告内容

✓ すいすいビジョン2029 の概要

✓ 現行計画 の 方針毎の振り返り



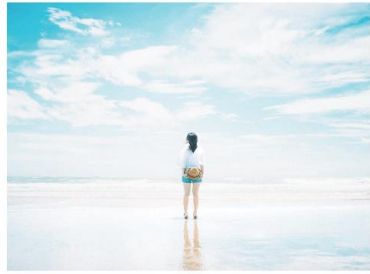
✓ これからの 2 年 に向けて

すいすいビジョン 2029

(令和元年9月策定)

基本理念

基本方針



すいすいビジョン
SUISUI vision
2029

令和元年(2019年)9月
吹田市水道部

未来につなぐ 市民と育む 信頼のすいた水道

安全

I 安全で安心できる
水道水の供給

強靱

II 災害に強く、
安定して供給できる
水道施設・体制の構築

持続

III 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営

地域

IV 吹田らしさを活かした
市民に身近な
水道事業の運営



安全

強靱

持続

地域

I 安全で安心できる
水道水の供給

施策	事業	管理指標				
1. 飲み水としての安全を守る	1. 高水準な浄水処理の維持・向上 2. 鉛製給水管の対策 3. 直結給水の推進、給水装置及び貯水槽水道の適正管理	水質基準不適合率 (給水栓での水質基準値に対する不適合割合:%)				
		優位性	基準(H30)	実績(R2)	実績(R3)	計画(R3)
		↓	0	0	0	0
		水源確認回数 (淀川取水場を巡視等により調査した回数:回)				
		優位性	基準(H30)	実績(R2)	実績(R3)	計画(R3)
		↑	28	27	28	28



水道 **GLP** の認定継続をはじめ、

水質管理の維持向上を図りました。



安全

強靱

持続

地域

I 安全で安心できる
水道水の供給

施策	事業	管理指標
1. 飲み水としての安全を守る	1. 高水準な浄水処理の維持・向上 2. 鉛製給水管の対策 3. 直結給水の推進、給水装置及び貯水槽水道の適正管理	鉛製給水管率 (給水件数に対する鉛製給水管使用件数の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3) ↓ ● 6.9 ● 4.4 ● 3.7 ● 4.2
		直結給水率 (給水戸数に対する直結給水戸数の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3) ↑ ● 70.1 ● 71.9 ● 72.6 ● 71.6
		小規模貯水槽水道点検率 (小規模貯水槽水道数に対する点検件数合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3) ↑ ● 95.5 ● 93.6 ● 94.2 ● 96.0



鉛製給水管



鉛製給水管 **面的** 整備事業 は、

令和 **2** 年度 で **完了** しました(H22年度~)が、

令和 **3** 年度以降 も 個別通知による取替工事と

助成金制度の継続により、

解消に向けた **体制を確保** しています。



Ⅱ 災害に強く、安定して供給できる水道施設・体制の構築

施策	事業	管理指標
1. ふたつの水源を守り 充実を	1. 地下水源の充実 2. 淀川表流水の維持	地下水源率 (総配水量に対する総地下水量の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3) ↑ ● 11.1 ● 10.2 ● 11.2 ● 13.7

2. 片山浄水所を中心とした整備を進める
1. 片山浄水所 処理施設の更新
 2. 片山浄水所 の 場内整備
 3. 片山浄水所・泉浄水所 連絡管の整備
 4. 南千里分岐・片山浄水所 送水管の整備



片山場内 **整備中** (R3~R7) 片山水処理施設 **更新完了**



片山・泉 連絡管 **整備完了**

南千里分岐・片山浄水所 送水管 **布設中** (R3~R10)



安全

強靱

持続

地域

Ⅱ 災害に強く、
安定して供給できる
水道施設・体制の構築

施策	事業	管理指標
3. 浄水所・配水場の整備と管理の向上を	1. 浄配水施設の更新・耐震化 2. 浄配水施設の維持・管理	配水池点検率 (総配水池に対する劣化状態を点検した配水池の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3)
		↑ ● 0.0 ● 18.2 ● 36.4 ● 36.4
4. 水道管の整備と管理の向上を	1. 基幹管路の整備 2. 配水支管の整備 3. 管路の維持管理の充実	基幹管路の耐震適合率 (基幹管路延長に対する耐震適合延長の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3)
		↑ ● 48.5 ● 52.8 ● 53.3 ● 55.0
5. 災害に強い体制を築く	1. 計画・マニュアルの充実 2. 応急給水・復旧体制の充実	重要給水施設管路耐震化適合率(箇所比) (重要給水施設に対する耐震適合管路にて供給している箇所数の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3)
		↑ ● 8.7 ● 10.1 ● 21.7 ● 11.6
7	7	法定耐用年数超過管路率 (管路延長に対する法定耐用年数を超過している管路の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3)
		↓ ● 37.7 ● 38.0 ● 38.0 ● 38.1
7	7	管路の更新率 (管路延長に対する更新した管路延長の数合:%)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3)
		↑ ● 0.91 ● 1.68 ● 1.35 ● 1.22
7	7	応急給水施設数 (箇所)
		優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3)
		↑ ● 21 ● 45 ● 45 ● 45



管路の耐震管率

= 管路総延長に対する
耐震管延長の割合(%)

平成

30

年度末

18.7

令和

元

年度末

20.4

令和

2

年度末

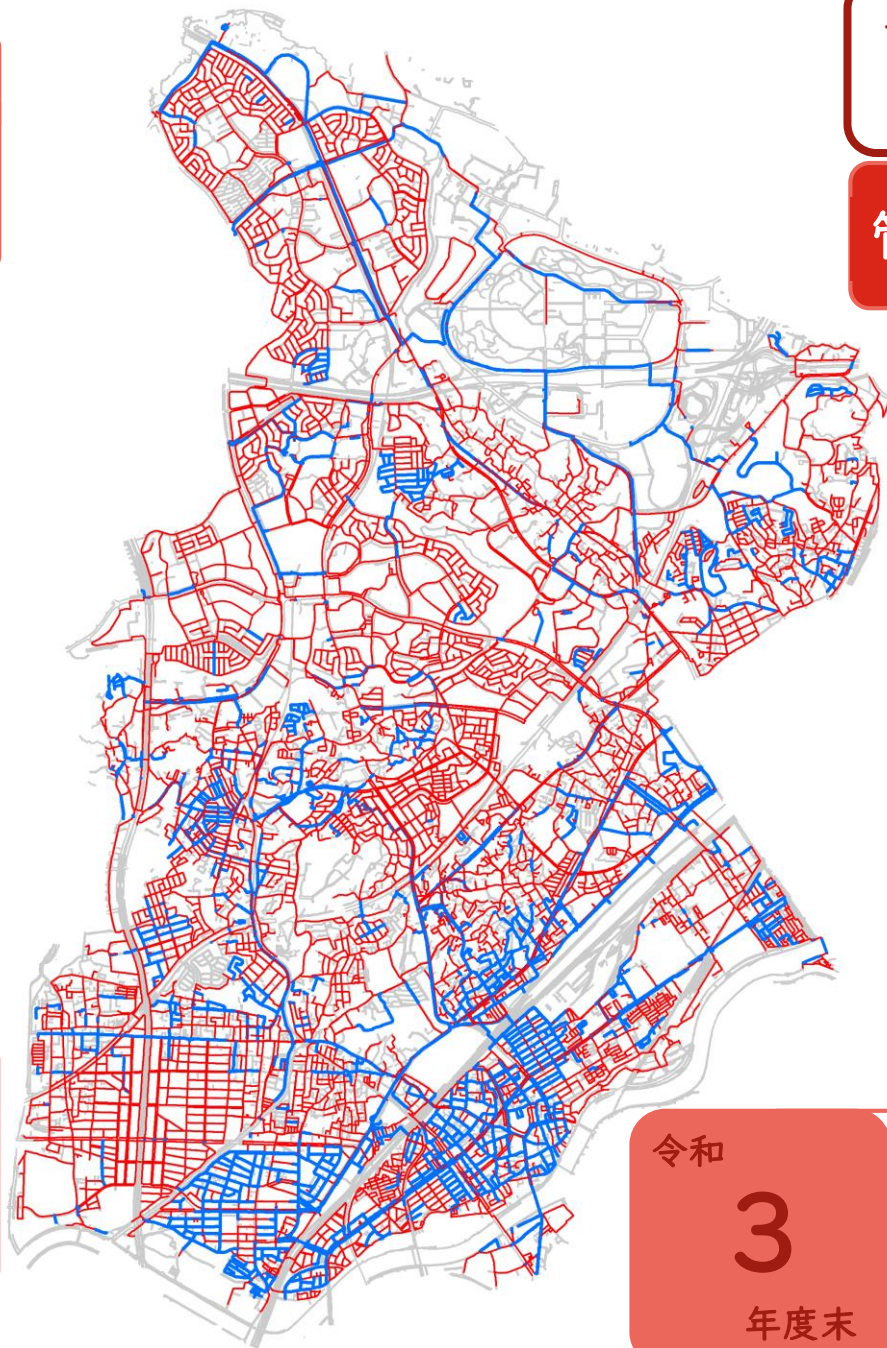
22.3

令和

3

年度末

23.8



Ⅱ 災害に強く、
安定して供給できる
水道施設・体制の構築

管路の耐震化状況

令和

3

年度末

青線：耐震管

赤線：非耐震管

Ⅲ 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営

安全

強靱

持続

地域

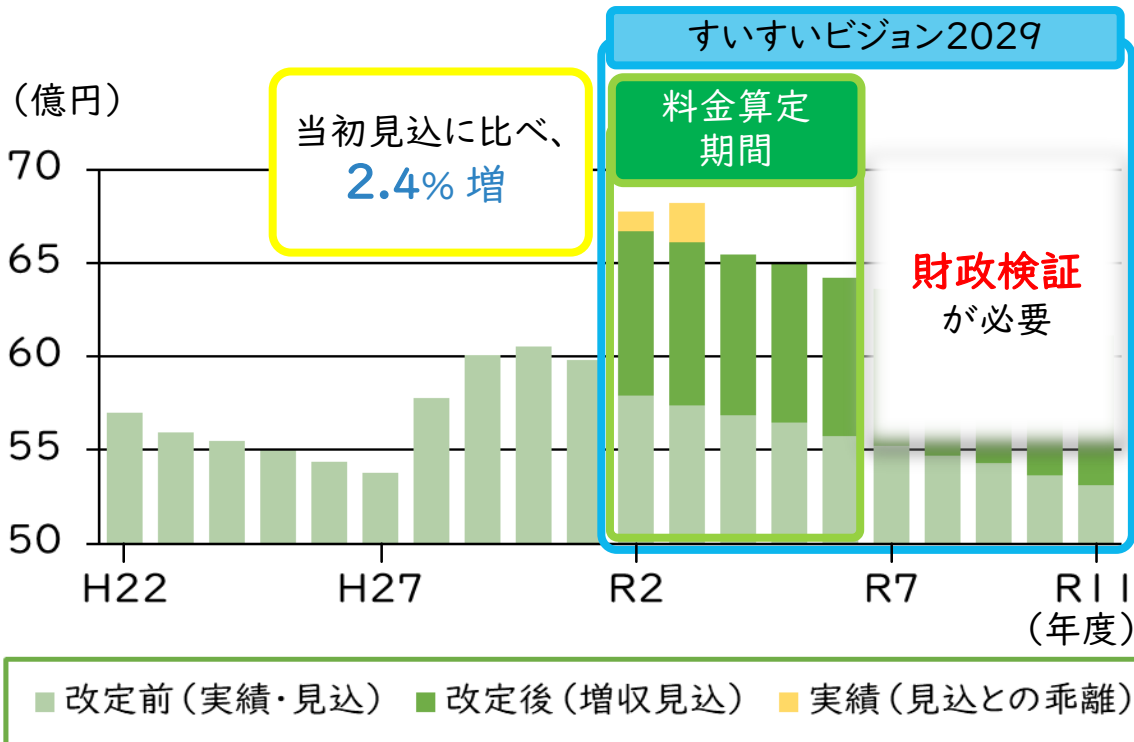
施策	事業	管理指標
1. 強固な経営の土台を築く	1. 計画の推進 2. 財源確保の取組 3. 広域連携による効率的な事業実施 4. 効率的な業務執行 5. 技術管理の向上	経費(料金)回収率 (給水原価に対する供給単価の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) 実績(R2) 実績(R3) ● 計画(R3) ↑ ● 107.3 ● 123.9 ● 124.2 ● 114.0
		給水原価 (有収水量1m ³ 当たりの経常費用の割合:円/m ³)
		優位性 ● 基準(H30) 実績(R2) 実績(R3) ● 計画(R3) ↓ ● 140.9 ● 135.1 ● 136.5 ● 148.1
		流動比率 (流動負債に対する流動資産の割合:%)
		優位性 ● 基準(H30) 実績(R2) 実績(R3) ● 計画(R3) ↑ ● 199.2 ● 169.9 ● 261.4 ● 198.2
		給水収益に対する企業債残高の割合 (%)
		優位性 ● 基準(H30) 実績(R2) 実績(R3) ● 計画(R3) ↓ ● 187.1 ● 243.7 ● 258.8 ● 270.5
有収率 (年間配水量に対する年間有収水量の割合:%)		
優位性 ● 基準(H30) 実績(R2) 実績(R3) ● 計画(R3) ↑ ● 95.9 ● 96.1 ● 96.7 ● 95.8		





Ⅲ 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営

料金改定に伴う料金収入の見込と実績



給水量

新型コロナウイルス感染拡大等の影響により、各前年度に比べ、

- 令和2年度…1.7%の**増**
(小口径 +4.5%、中・大口徑▲14.4%)
- 令和3年度…0.5%の**減**
(小口径 ▲0.5%、中・大口徑▲0.4%)

給水収益

コロナ禍における給水量の増加等により、料金改定及びすいすいビジョン2029の財政計画に比べ、

- 令和2年度…1.6%の**増**(約1億円の増)
- 令和3年度…3.2%の**増**(約2億円の増)

運転資金残高 (令和11年度末における目標:25億円)

給水収益と加入金収入が計画を上回ったことや、建設改良工事の繰越し等により資金不足額が計画を下回ったこと等の結果、令和3年度末における運転資金は約42億円となりました。

しかし、令和3年度からの繰越しや先送りした工事を含め、約54億円の施設整備を予定していることから、令和4年度末の運転資金は、約24億円程度になる見込みです。



料金算定期間を見据えながら**財政状況**を**検証**していく必要があります。



Ⅲ 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営

施策	事業	管理指標
2. 人を育て、 強い組織を 築く	1. 人材育成と技術の継承 2. 組織編成の最適化	研修時間 (職員一人当たりの内部・外部研修の受講時間:時間/人) 優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3) ↑ ● 22.4 ● 6.7 ● 15.7 ● 23.0
		配水量1m³当たり電力消費量 (kWh/m ³) 優位性 ● 基準(H30) ● 実績(R2) ● 実績(R3) ● 計画(R3) ↓ ● 0.25 ● 0.24 ● 0.25 ● 0.28
3. みんなの 地球環境を 守る	1. 環境に配慮した事業 の推進	(同上)
		(同上)

吹田市水道部 **現場力** 向上方針
(R4.3策定)

背景

- ✓ 豊富な知識と経験を有する **技術職員の減少**
- ✓ 技術職員の **現場経験の減少**

目的

人材育成により **強い組織** を築き、
安心 かつ **安全** な水道を
未来につなぐこと

これを踏まえ、
部独自の研修計画を **現在策定中**

「現場力」のイメージ図

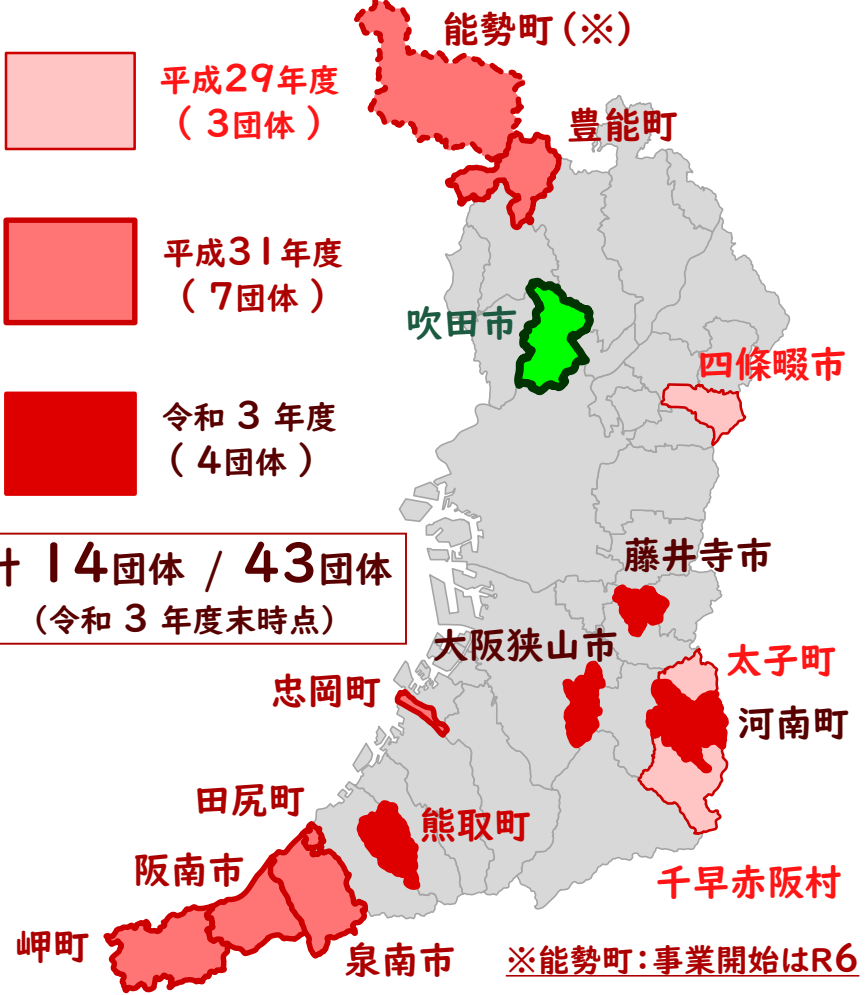




Ⅲ 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営

府域水道事業の動向

大阪広域水道企業団との統合状況



府域一水道に向けた水道のあり方協議会

- ✓ **設置** 平成30年8月
- ✓ **構成** 府内の全水道事業者、大阪府(事務局)
- ✓ **目的** 持続可能な府域水道事業の構築のため、府域一水道に向けた水道のあり方について検討、協議を行うこと
- ✓ **体制** 総会、専門部会、作業部会、府内4ブロック会議
- ✓ **大阪府水道基盤強化計画**
 - ・令和 5 年 3 月 策定目標
 - ・計画期間は、令和 5 年度から令和 19 年度まで (15 年間)
 - ・おおさか水道ビジョン (平成24年3月 目標年次2030年) 及び 大阪府水道広域化推進プラン (令和2年3月 目標年次2030年) を具体化した実施計画

安全

強靱

持続

地域

IV 吹田らしさを活かした
市民に身近な
水道事業の運営

施策	事業	管理指標
1. 使う人に 便利で快適な サービスを	1. 料金 に係るサービスの充実	水道事業に対する苦情対応割合 (給水件数に対する水道事業に関する苦情対応件数の割合:件/1,000件) 優位性 ● 基準(H30) 実績(R2) 実績(R3) ● 計画(R3) ↓ ● — ● 0.5 ● 0.4 ● 0.5
	2. 給水装置の維持管理 に係るサービスの充実	
2. 市民と いっしょに 水道を考える	3. 水道水質 に係るサービスの充実	イベント等による情報の提供回数 (水道事業に係る情報を提供した回数:回) 優位性 ● 基準(H30) 実績(R2) 実績(R3) ● 計画(R3) ↑ ● 45 ● 3 ● 17 ● 55 市民満足度 (アンケート調査で水道事業に「満足している」等と回答した人数の割合:%) 優位性 ● 基準(H30) 実績(R2) 実績(R3) ● 計画(R2) ↑ ● 91.2 ● 91.5 ● — ● 91.8
	1. 多様な手段による 広報の充実	
	2. 市民参画の推進による 広聴の充実	
	3. フューチャー・デザインの取組	
	4. 市民とのパートナーシップの推進	



安全

強靱

持続

地域

IV 吹田らしさを活かした
市民に身近な
水道事業の運営

施策 事業

2. 市民と
いっしょに
水道を考える

1. 多様な手段による
 広報の充実
2. 市民参画の推進による
 広聴の充実
3. フューチャー・デザイン
 の取組
4. 市民とのパートナーシップ
 の推進



	R1	R2	R3
すいどう にゅーす	年2回	年2回	年2回
浄水所 見学	市内29校 など	中止	中止
水道フェア	1,078名 の来場	中止	中止
水道いどばた 会議	0回	中止	中止

アンケート調査 結果 (抜粋)

- ✓ **知りたい**情報のベスト3
 - 1位 水道水の**安全性**
 - 2位 断水・濁水等の**緊急情報**
 - 3位 **老朽化対策**
- ✓ 安全・強靱・持続の**取組**が
8割の方々に**伝わっていない**
- ✓ 「すいどうにゅーす」の読者は、
全体 **44%** 30代 **34%**
 20代 **17%**

若年層 への PR不足



広報コンパス5D

(令和4年3月策定)

広報活動の**目的と方向性**
を示し、**具体的かつ戦略的**
に実施する**方針**

大阪大学

連携テーマ

フューチャー・デザインの実践

- ✓ 健全な水道を未来へつなぐため、
中長期の計画や施策を考える上で、
将来世代の視点が重要
- ✓ 近視性や楽観性を克服して、
将来世代の**利益**を考慮した
持続可能な意思決定を導くための
仕組み

取組内容

市民アンケートの共同実施

- ✓ 2,000名の市民を対象とし、
令和4年7月~8月に**実施**

部内ワークショップ

- ✓ 16名の職員を対象に、
令和4年8月から**実施中**
(全5回を予定)



大阪学院大学

連携テーマ

若年層に向けた水道事業のPR手法の検討

- ✓ **大学生の目線**から若年層に向けた
PR手法を**検討**
- ✓ **学生への事業PR**と
学生の実践学習の場を提供

取組内容

PR手法の検討

- ✓ 水道事業の概要や現状等について、
ゼミ生を対象に**説明講義**(5月)
- ✓ 経営学を学ぶ学生を対象に、
令和4年度に**実施中**

インターンシップ

- ✓ **PRイベント・動画**の企画・参加・実施
を内容とし、令和4年8月から**実施中**
(延べ6日間を予定)



これからの2年に向けて

基本方針

安全

I 安全で安心できる
水道水の供給

- ✓ 吹田市水安全計画の更なる充実
平成27年度策定、片山更新や新たな知見・事件事例
- ✓ 水道GLPの更新認定
令和5年度予定、市民に信頼される水質検査体制の確保

強靱

II 災害に強く、
安定して供給できる
水道施設・体制の構築

- ✓ 片山浄水所を中心とした整備の着実な実施
構外井戸、南千里・片山送水管布設、片山場内整備
- ✓ ソフト面の充実による危機対応力の向上
耐震化計画や受援計画等の運用体制確立と訓練実施

持続

III 将来にわたり
持続可能な
水道事業の経営

- ✓ 財源確保と環境負荷低減の取組強化
地下水利用専用水道対策、財政検証、広域連携、小水力発電
- ✓ 人材育成と技術・技能継承に向けた体制確立
人材育成方針・研修計画の策定・実施・検証

地域

IV 吹田らしさを活かした
市民に身近な
水道事業の運営

- ✓ 広報・広聴の更なる充実
広報コンパス5D推進、官学連携、双方向コミュニケーション
- ✓ 満足度の高い便利で快適なサービスの提供
市民満足度につながる新たなサービスの検討・提供